

## 1 学校関係者評価の実施体制

### (1) 構成人数

8名（保護者、地域関係者）※学校評議委員を兼ねる。

<内訳>

・PTA会長1名、前PTA会長・副会長3名、後援会会長1名、自治会長1名

### (2) 実施回数

委員会2回（第1回平成23年6月21日（火）、第2回平成24年2月8日（水））

授業参観等（学校公開、校内音楽会）

## 2 学校関係者評価

### (1) 学校の教育活動について（与野八幡小学校グランドデザイン・市学校教育ビジョン）

- ①学校が目標とする児童像とコミュニケーション力について、学校評価アンケートの項目からは読み取りがたい。
- ②学校や家庭での「おはよう」「ありがとう」などのあいさつについては、保護者・地域及び教職員共に課題と感じる意見が出ている。
- ③「体力づくり」も同じく保護者・地域及び教職員から課題と感じる意見が多い。来年度は研究推進委員会では対応を検討中とのことで、成果を期待したい。
- ④ICTを活用した授業に、教師によって使用に差があり。改善策を検討中とのことで今後期待をする。
- ⑤「生徒指導・教育相談」では、教職員の評価に対して、保護者・地域の評価の乖離が大きいのが、子どもの悩みやトラブル等及び保護者からの相談・要望に対する対応。意見・要望の中にも評価する声と、対応に疑問の声もあり改善を要する。
- ⑥今年もトイレの臭いに対して、改修を希望する声が多く、強くなっている。学校側では清掃を強化するなど対応はしているが、老朽化が進んでいて限界がある。

### (2) 全体評価・改善策

教師一人ひとりの子どもに対する指導力に差があるのでは、と思わせる意見が多く、授業での指導力や「教育指導・教育相談」等に対して、学校全体で対応していくよう対策を進めるべきと考える。

- ・徳力（豊かな心）の（読書好きな子どもを育てます）は、読書数・読書時間等は数値化し対象と比較することで客観的な判断材料とすることができる。工夫が必要と考える。
- ・あいさつについては、家庭や地域での関わりの中であいさつをする機会が減っているなど課題は多いが、あいさつ運動等に引き続き取り組んでもらいたい。
- ・トイレは施設の改修をしなければ改善は困難。10年来の課題なので、学校ではなく、行政側に強く改善を求めたい。